

令和5年度 学校教育計画

教育理念	一 真理の探究 一 自他の敬愛 一 責任の完遂	
学校教育目標	1 現代社会におけるグローバル化・情報化の進展や産業技術の発展をふまえるとともに、生涯にわたる人間形成の基礎を培い、多様な科目を開設して生徒の個性を伸長させる。 2 将来の職業選択を視野に入れた進路設計への自覚を深めさせ、社会の変化に主体的に対応できる心身ともに健康な人材を育成する。 3 マンツーマン指導を基本として、個々の生徒の興味・関心・能力・適性及び進路等にきめ細かく対応し、それぞれの希望する進路実現を支援する。	
中期目標	(1) ライフプランを考え、第一希望で進路実現させ得る組織的な学校づくり (2) 体系化されたキャリア教育のシステムによる「生きる力」を育成する学校づくり (3) 授業等の様々な学習活動を通じて、健康な心身と体力を育成する学校づくり (4) 地域社会と連携し信頼される、開かれた学校づくり (5) 知識の確実な定着と実践的思考力を養う、魅力ある授業の研究 (6) 特色ある系列と進路実現に有効な科目選択の研究	総合評価
今年度の重点目標	① 系統的・体系的キャリア教育の展開に基づく適切な科目選択をとおして、学力向上を図り、生徒の進路実現を目指す ② 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、多面的な学習評価とICTの活用による知識の定着と実践的思考力や応用力の涵養、探究的な活動の支援 ③ 地域・地元企業・保護者との連携、体験入学や公開授業などを通じ、中学とより緊密に交流する開かれた学校づくり ④ コロナ後の学校の教育活動の活性化と個々の生徒に寄り添うとともに、いじめや体罰のない安心安全な環境を確保する。	

部署別重点目標

部署	今年度重点活動(評価項目)	重点目標	到達目標(評価の観点)	評価	成果と課題	改善策
教務	1 生徒が安心して学校生活を送り、確かな学力と豊かな人間性を育めるよう他部署との連携を図り、円滑な学校運営を行う。	①②③	ア 月暦・日課等の作成と周知徹底、状況に応じた日程変更と周知徹底 イ 授業研究・授業公開の実施、サポート ウ 各種研修の推進、サポート			
	2 本校の教育内容の充実を図り、その成果を積極的に保護者、地域、中学生に発信し、地域に理解され信頼される学校作りを目指す。	②③	エ 公開授業および体験授業の充実 オ 中学生向けの出前授業・進路講話の地域を拡大実施し本校に対する関心を高める。 カ 中学校訪問等を通じた、本校の特色や入学者選抜の中学校や中学生への周知			
	3 PTA活動活動、地域と連携した諸活動を通して学校と家庭、地域社会を結びつけ、生徒が安心して活動し、豊かな経験を積める環境を調える。	③	キ 学校・学年・学級のPTA活動を通じて、学校教育・家庭教育における情報共有と豊かな学びの機会の充実 ク PTA会報などの内容と広報の充実			
	4 毎日の教育活動を通して、コロナ前の活気を取り戻し、いじめや体罰のない生徒一人一人が安心して取り組める教育の環境を整える。	④	ケ 生徒を取り巻く様々な状況の変化に臨機応変に対応できる態勢をとる コ Webサイト・インスタグラムなどによる教育活動の情報発信			
進路指導	1 各部署とのつながりを意識し、系統的・組織的に進路指導を行う体制を整えるとともに、職員間での情報共有を図る。	①②	ア 生徒の進路に対する意識の向上と、基礎学力の定着を図るため、各部署と連携してより効果的な取り組みを研究、実践する。 イ 新教育課程に対応できるよう引き続き共通テストの情報を収集し、職員間での共有化を図る。 ウ スタディーサポートや模擬試験など学びの基礎診断ツールの効果的な活用を研究、実践する。			
	2 自らの目標と進路の実現に向けて、主体的に行動できる生徒の育成を図る。様々な検定試験の受検を奨励する。	①②	エ 桔梗塾などの補習授業や勉強クラブ、各種検定に意欲的に取り組むよう促す。 オ 進路ガイダンス、進路相談会、オープンキャンパス、企業見学会への積極的参加を促す。 カ 「進路通信」「志学の時間」を通して、進路に関する情報を提供するするとともに進路意識の啓発に努める。 キ 一人一人の生徒の状況に応じた進路が実現できるよう支援する。			

部署別重点目標

部署	今年度重点活動(評価項目)	重点目標	到達目標(評価の観点)	評価	成果と課題	改善策
生徒支援	「対話と共感」、「自立と支援」の生徒指導 ・基本的生活習慣の確立 ・服装・頭髪等の身だしなみを整える ・貴重品の管理、携帯・スマホ利用に関する注意喚起 ・交通事故の未然防止 ・人権教育の充実	②③④	ア 職員の共通理解と意識を統一し、生徒への声かけを大事にする。 イ 学習、行事、生徒会、クラブ活動を通して、学校生活の積極的な意義を見出すよう指導援助する。 ウ 交通安全指導を折りにふれて行ない、生命を尊重し安全を確認して行動する習慣を確立させる。			
	いじめを出さない学校づくり ・いじめに対する未然防止、早期発見、早期対応、再発防止を組織的に取り組む ・常に開かれた相談態勢を整える	③④	エ 家庭との連絡や相談、スクールカウンセラー等の有効活用などで生徒や保護者を支援する。 オ HR担任、教科担任、生徒会、クラブ顧問との連絡を密にし、生徒個々の動向を明確に把握できるようにする。			
キャリア教育推進	1 総合学科の特徴を活かして社会の変化に対応したキャリア教育を行う。	①②③④	ア 生徒が科目選択などを通じて自己の価値観や可能性を広げられる機会とし、また新教育課程に則したシステムや指導方法などを見直し工夫することができたか。 イ 生徒に社会の変化を踏まえながら自分の将来や社会との関わり、貢献について考えさせることができたか。			
	2 キャリア教育に係わる「探究的な学び」を計画・実行する。	①②③	ウ 探究的な学びを通して自己や他者への理解を深めるとともに、自ら課題を解決しようとする姿勢を養うことができたか。 エ 各学年の学習計画および「志学の時間」や「ポートフォリオ」の作成を通じて探究的に学びを深めたり、キャリア観を養うことができたか。			
	3 地域との連携を深め、総合学科高校としての本校の魅力高める。	①②③④	オ 「シオジリ学」を3年間継続的に学習できるプログラムとし、地域資源を積極的に活用した学習を実践できたか。 カ 生徒の活動や学習の成果を広く発信することができたか。			
生徒会	生徒会活動に参加することにより、豊かな人間性を育て、相互理解を深める。	①②④	ア 生徒会活動を通し、生徒相互の関わりを深め、コミュニケーション能力の向上を図る。 イ 目標の達成を目指し、継続的な努力をする事で、高校生活に対する達成感を持たせる。			
	生徒自らが自覚と責任を持って活動することにより、主体性をはぐくむ。	①②④	ウ 明確な目的を持たせ、立案、企画運営を行わせる事で、リーダーとしての資質を向上させる。 エ 生徒会活動を通し、ひとりひとりの役割を理解することで、互いに協力する関係をつくる。			
ICT図書視聴覚	1 ICTを活用して学校教育の充実を進める。	②	ア ICTを効果的に使い、生徒の主体的・協働的な学びを促す。 イ 探究活動等におけるICTを活用した指導を推進する。 ウ ロイロノートやGoogle Classroomの多岐にわたる活用を進める。			
	2 ICT環境を整えて校務における活用を促進する。	②③	エ 学校ウェブサイトやSNSを通して学校の情報を発信する。 オ 統合型校務支援システムを活用して業務の効率化を図る。			
	3 図書館運営の充実を図る。	①②	カ 図書館利用の活性化を図る。 キ 生徒の読書活動の向上を図る。 ク 図書委員会による積極的な広報活動を行う。 ケ 生徒の探究活動に沿った蔵書の拡充を図る。			
	4 視聴覚教育の充実を図る。	②④	コ 視聴覚教室・視聴覚機材の教育活動への利用拡大を図る。 サ 芸術鑑賞の円滑な運営を行う。 シ 芸術鑑賞を通して、豊かな心を涵養する。			

部署別重点目標

部署	今年度重点活動(評価項目)	重点目標	到達目標(評価の観点)	評価	成果と課題	改善策
保健厚生	1 校舎内外の清掃の徹底と感染症予防対策の継続。草花などの装飾による美化活動	④	ア ゴミの分別と減量化・生徒の取り組みの強化 イ 清掃および感染症予防対策の継続 ウ 各人が自ら判断して感染症予防対策に取り組める教育環境の充実			
	2 検診のスムーズな運営と性教育・薬物教育の充実	④	エ 保健委員会と職員の協力体制を強化する。 オ 外部講師の精選と教育方法の研究をする。			
	3 職員厚生の充実	②④	カ ストレスの軽減とリフレッシュ行事の実施			
1 学年	1 基本的な生活習慣の確立	①②③	ア 安定した生活のリズムをつくらせることができたか。 イ 家庭との連絡が密にとれたか。			
	2 学習習慣の確立	①②③	ウ 家庭学習の習慣化に向けてはたらきかけができたか。 エ 学習意欲を高めさせ、科目選択への意識付けができたか。			
	3 相互理解を深める	②③④	オ 互いに尊重し合える関係が築けるようにアドバイスできたか。			
2 学年	1 進路意識の高揚、集団形成と支援体制を整える	①②③④	ア 学年全体、進路希望別、それぞれの集団での学習活動ができたか。 イ 進路指導部とキャリア推進部の連携によるCPの充実が図れたか。 ウ 個別に学力・生活状況に応じた相談・助言ができたか。			
	2 研修旅行の充実	②③④	エ 平和学習・防災学習の充実が図れたか。 オ 訪問する各地の地理・歴史・文化について理解を深められたか。 カ 互いに協力し自らの責任を果たし、有意義な研修旅行になるように指導できたか。			
	3 相互理解を深める	③④	キ 互いに尊重し合える関係が築けるようにアドバイスできたか。 ク 家庭との連絡が密に取れたか。			
3 学年	1 進路実現への指導、支援体制の充実	①②③	ア 学習意欲の向上、資格取得へのアプローチを図れたか。 イ 個性や適性などに応じた進路指導をできたか。 ウ 多様な入試制度に対応し、受験準備など計画的に活動できるように支援できたか。			
	2 コミュニケーション能力の向上	③④	エ 互いに尊重しあえる関係が築けるようにアドバイスできたか。 オ 家庭との連絡を密にとれたか。 カ 社会の一員となるためのコミュニケーション能力を育成できたか。			
	3 学校生活の充実と最上級生としての活動支援	①②③④	キ 学校・生徒会行事において責任ある活動ができるように支援できたか。 ク 規範意識を向上させ、社会性を身につけさせることができたか。			